

パラ馬場馬術競技 GV個人チャンピオンシップテスト 2017

時間 5'30"(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順 競技者名 所属 馬名

Minimum age of horse: 6 years

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X XC 収縮駢歩で入場 停止—不動—敬礼、収縮速歩で発進 収縮速歩	10					ペース・停止・移行の質、真直性、コンタクトと項の位置	
2.	C MXK K 蹄跡右手前へ 伸長速歩 収縮速歩	10					整正、弾発性、バランス、後駆のエンゲージメント、歩幅とフレームの伸展	
3.	KAF MとKでの移行 収縮速歩	10					リズムの維持、流暢さ、正確でスムーズな移行、フレームの変化、速歩の質	
4.	FX 左へハーフパス	10			2		速歩の整正と質、均等なバンド、収縮、バランス、流暢さ、肢の交差	
5.	X 左へ巻乗り(直径8m)	10					速歩の整正と質、収縮とバランス、バンド、巻乗りのサイズと形	
6.	XG GC 左に肩を内へ 収縮速歩	10					速歩の整正と質、バンドと一定の角度、収縮、バランス、流暢さ	
7.	C CHX 蹄跡左手前へ 収縮速歩(斜線上へ)	10					速歩の整正と質、収縮、回転でのバンド	
8.	Xの前で X 収縮常歩 左へハーフピルエット、収縮速歩で発進	10			2		収縮速歩から収縮常歩への移行、ハーフピルエットの整正・活発さ・収縮・サイズ・フレクション・バンド、前進意欲、4ビートの維持	
9.	XHCMX 収縮速歩(斜線上へ)	10					速歩の整正と質、収縮、隅角でのバンド	
10.	Xの前で X 収縮常歩 右へハーフピルエット、収縮速歩で発進	10			2		収縮速歩から収縮常歩への移行、ハーフピルエットの整正・活発さ・収縮・サイズ・フレクション・バンド、前進意欲、4ビートの維持	
11.	XMCH 収縮速歩	10					速歩の整正と質、収縮、隅角でのバンド	
12.	HXF F 伸長速歩 収縮速歩	10					整正、弾発性、バランス、後駆のエンゲージメント、歩幅とフレームの伸展	
13.	FAK HとFでの移行 収縮速歩	10					リズムの維持、流暢さ、正確でスムーズな移行の実施、フレームの変化、速歩の質	
14.	KX 右へハーフパス	10			2		速歩の整正と質、均等なバンド、収縮、バランス、流暢さ、肢の交差	
15.	X 右へ巻乗り(直径8m)	10					速歩の整正と質、収縮、バランス、巻乗りのバンド・サイズ・形	

パラ馬場馬術競技 GV個人チャンピオンシップテスト 2017

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
16.	XG 右に肩を内へ	10					速歩の整正と質、ベンドと一定の角度、収縮、バランス、流暢さ	
17.	GとCの間 C CMR 中間常歩 蹄跡右手前へ 中間常歩	10					収縮速歩から中間常歩への移行、整正、背の柔軟、活発さ、オーバートラック、肩の自由、ハミへのストレッチ	
18.	RXV 伸長常歩	10					整正、背の柔軟、活発さ、オーバートラック、肩の自由、ハミへのストレッチ、中間常歩との違い	
19.	VK K KAF 収縮常歩 左手前収縮駢歩で発進 収縮駢歩	10					伸長常歩から収縮常歩、収縮常歩から収縮駢歩への移行、リズムの維持、迅速さ、流暢さ、真直性、駢歩の質、収縮	
20.	FX XI 左へハーフパス 中央線上へ	10					駢歩の質、収縮、バランス、均等なベンド、流暢さ	
21.	I IC C CM シンプルチェンジ 収縮駢歩 蹄跡右手前へ 収縮駢歩	10			2		シンプルチェンジの両移行での迅速さ・流暢さ・バランス、3-5歩の明確な常歩、シンプルチェンジの前後の駢歩の質	
22.	MF F 伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、フレームと歩幅の伸展、アップヒル傾向、真直性	
23.	FAK MとFでの移行 収縮駢歩	10					リズムの維持、流暢さ、正確でスムーズな移行の実施、フレームの変化、駢歩の質と収縮	
24.	KX XI 右へハーフパス 中央線上へ	10					駢歩の質、収縮、バランス、均等なベンド、流暢さ	
25.	I IC C CH シンプルチェンジ 収縮駢歩 蹄跡左手前へ 収縮駢歩	10			2		シンプルチェンジの両移行での迅速さ・流暢さ・バランス、3-5歩の明確な常歩、シンプルチェンジの前後の駢歩の質	
26.	HK K 伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、フレームと歩幅の伸展、アップヒル傾向、真直性	
27.	KA HとKでの移行 収縮駢歩	10					リズムの維持、流暢さ、正確でスムーズな移行、フレームの変化、駢歩の質と収縮	
28.	AL L 中央線上へ 停止-4歩後退-直ちに収縮速歩で発進 収縮速歩	10			2		停止と移行の質、スルーネス(透過性)、流暢さ、真直性、対角の正確な歩数	
29.	LI I 収縮速歩 停止-不動-敬礼	10					ペース・停止・移行の質、真直性、コンタクトと項の位置	
	Aから手綱を伸ばした常歩で退場							
計		360						

